

「情報事業担当者のための課題解決・実践研修」 2018年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
下記のとおり、報告いたします。

報告日 2018年9月14日

1 施設概要

施設名	仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 (指定管理者：公益財団法人せんだい男女共同参画財団)	
代表者名・職名	館長：岩渕 千代子	
住所	(〒980-6128) 宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1 AER (アエル) ビル 28階	
	電話 022-268-8044	FAX 022-268-8045
担当者名・職名	エル・ソーラ仙台 管理事業課 主任 安彦 (あひこ) 美保	
	E-mail sola29@sendai-l.jp	

2 事業の概要

事業名	情報事業に携わる人のための課題解決・実践研修 「男女共同参画センター・女性センター等の情報事業を再構築する」
趣旨、ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターや女性センター等における情報事業の現状と課題を把握し、時代と地域のニーズに合った情報事業を再構築する力をつける。 ・それぞれのセンターで実施している情報事業を棚卸しし、今後の展開の方策を見出す。
対象者と定員	男女共同参画センター・女性センター等の情報事業担当者、 行政の男女共同参画担当者、図書館員、 男女共同参画センター等の情報事業に関心のある人など 定員：30名
実施日	2018年8月2日(木)～8月3日(金)
プログラム概要	<p>1 回ごとの内容、講師、時間配分等プログラムの概要</p> <p>■8月2日(木) 13:00～17:00</p> <p>◇オリエンテーション(13:00～13:10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のねらいとプログラムの紹介、参加者紹介等 <p>◇講義①(13:10～14:10)</p> <p>「男女共同参画センター・女性センター等の情報事業の現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターにおける情報事業の位置づけと役割、 情報事業の現状と課題 <p style="text-align: center;">講師/安彦 美保 (仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 管理事業課 主任)</p>

◇ワークショップ① (14:20~16:00)

「情報事業の棚卸しと情報事業の一覧マップ作成 (個人ワーク/グループワーク)」

- ・自センターで実施している情報事業の一覧を作成し、その成果を自己評価、情報事業の現時点の課題を抽出
- ・棚卸しした各センターの情報事業をグループ内で共有してカテゴライズし、男女共同参画センター・女性センターの情報事業全体を把握するマップを作成

ファシリテーター/安彦 美保 ・ 桜井 陽子

((特非) 活全国女性会館協議会 顧問)

◇講義② (16:10~17:00)

「SNS・HP活用の現状と課題について」

- ・Facebook、Twitter、LINE、HP など web の活用法とその成果、課題を把握

講師/菅原 亜都子 (札幌市男女共同参画センター 事業係長)

◇研修終了後

*館内案内 (17:10~17:30)

*情報交換会 (18:00~20:00)

■8月3日 (金) 10:00~15:00

◇講義③ (10:00~10:55)

「3. 11からの男女共同参画センター ~情報発信の舞台裏」

- ・東日本大震災以降、センターはどのような視点で情報を集め、提供・発信してきたか。大変だったことや、工夫した事例などを中心に紹介。

講師/荒井 康子 (仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 管理事業課長)

◇講義④ (11:00~12:00)

「国立女性教育会館 NVEC (ヌエック) 活用法」

- ・各地の男女共同参画センターが活用できる NVEC の情報関連サービスを徹底紹介

講師/細川 芽 (独立行政法人国立女性教育会館 情報課長)

◇ワークショップ② (13:00~13:30)

「情報事業マップの全体発表と意見交換 (グループワーク)」

- ・ワークショップ①で作成した各グループの情報事業マップを全体発表し、全員で意見交換

ファシリテーター/安彦 美保 ・ 桜井 陽子

◇ワークショップ③ (13:30~14:30)

「情報事業の再構築 (個人ワーク)」

- ・これまでの講義・ワークショップを踏まえ、自センターの情報事業をセンター全体の事業、地域の社会資源との連携・協働の関連から再構築し、自センターの次年度情報事業の事業計画への活用について検討

ファシリテーター/安彦 美保 ・ 桜井 陽子

◇意見交換 (14:30~15:00)

「男女共同参画センター・女性センター等における今後の情報事業」

- ・研修を受講しての感想や気づき、今後の取り組みや抱負などを参加者一人ずつ発表

- ・研修のまとめ

ファシリテーター/安彦 美保 ・ 桜井 陽子

実参加者数	17名 【内訳】協議会 会員館：7館（内、仙台市2館） 協議会 非会員館：2館
アンケート結果の概要	別紙のとおり
担当者所感	<p>・全国女性会館協議会のプログラムを通して、情報事業・広報啓発事業における事業評価やPDCAサイクルの不足という、自館の課題や今後の改善点が見えた。当財団の複数の部署から可能な限り参加させていただき、センターの事業評価の手法や各部署が抱える課題を共有する機会となったことは、大きな収穫であった。</p> <p>また、NMEC活用法やSNS活用の先進事例を、東北各地のセンターとともに共有することができた他、東日本大震災を経験したセンターとして、震災以降の情報発信について、自館の経験を伝える機会にもなった。</p> <p>今回、主に札幌及び東北各地の男女共同参画センター職員や、仙台の公共施設職員にご参加いただき、情報交換を通して、センター職員どうし顔の見える関係を作ることができたとともに、今後の事業展開の参考になるさまざまなアイデアをいただいた。今後、センターまたは財団のSNSアカウントによる情報発信、関係機関への図書のパッケージ貸し出しやテーマ別ブックリストの配布、ライブラリーに入りやすい仕掛けづくりや利用者の目を引く展示など、具体的な取り組みに着手していきたい。</p> <p>・北海道、東北以外の地域からの参加がお一人と少なく集客に苦労したが、当館より、協議会非会員館を含めた東北6県のセンターや市内公共施設に広報したところ、会員館以外の施設からの参加もあった。今後、協議会からの広報範囲を非会員館にも広げていただければ、協議会の実施事業を広め入会のきっかけとなるかもしれないと感じた。</p> <p>また、情報事業担当者を対象とした研修であるが、情報事業の範囲として広報・啓発事業等を含め広く捉えていること、講座事業や相談事業との連携や、各事業に共通する事業評価や発信力強化を含めた内容であることから、広く中堅層のセンター職員を対象とした研修という位置づけにしてもふさわしいものではないかと感じた。</p> <p style="text-align: center;">（仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 管理事業課 安彦 記）</p>